

令和6年度 学校関係者評価結果報告書

学校名

成田市立久住中学校

1 学校教育目標

一人一人の学びを大切にし 生きる力を育成する
【学校・家庭・地域社会との連携および協働を通して】

学校関係者評価委員

2 本年度の重点化された具体的な目標

・タブレット端末等のICT機器を効果的に活用し、体験的活動を積極的に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現に努める。
・学校運営協議会や学校支援推進委員会、地域の各種団体と連携し、地域社会の人材や教育施設を活用した教育を推進する。
・生徒指導の機能を重視した指導・支援に努め、自己肯定感の醸成を図る。

学校運営協議会委員

3 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策	学校関係者評価	
					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
教育課程 学習指導	先生の授業は、ていねいで分かりやすい。	94. 2%の生徒が肯定的評価をしている。	A	指導主事による授業研修や生徒が主体的に活動する授業づくりに関する研修を行う。普段の授業において、学習の仕方について助言する。	A	A
	子どもは家庭学習の習慣が身に付いている。	67. 2%の保護者が肯定的評価をしている。	B			
学校関係者による意見等	授業においては、わかりやすい授業を展開しており生徒の高評価につながっている。家庭学習においては、タブレット等を使用し、学習問題等を課題として与えるといふ。					
生徒指導	先生方は、悩んだり困ったりした時、相談にのったり助けてくれる。	93. 1%の生徒が肯定的評価をしている。	A	教育相談を充実させ、生徒に関する情報を職員が共有し、指導する体制を整える。生徒主体の活動を増やし、達成感や自己肯定感を高める。	A	A
	学校はいじめや差別のない学校づくりに取り組んでいる。	81. 6%の保護者が肯定的評価をしている。	B			
学校関係者による意見等	・生徒は生活態度がとても良く、今後も継続してほしい。 ・生徒間、生徒と教師間の信頼が非常に強いことがわかる。 ・総合的な学習の時間の発表の時に参観したが、暖かい雰囲気の中で熱心に発表し合う生徒たちの姿が非常に良かった。生徒は日頃から安心して学校生活を送っている。					
家庭地域との連携	学校は子どもの様子を学年・学級通信、ホームページや保護者会等で伝えている。	86. 4%の保護者が肯定的評価をしている。	A	学校通信や学年通信を定期的にマチコミで配信し、確実に保護者へ伝わるようにする。授業参観等で学校の様子を公開する。	A	A
	学校は家庭や地域との連携を適切に行っている。	88. 8%の保護者が肯定的評価をしている。	A			
学校関係者による意見等	・学校のホームページをさらに利用して、家庭・地域に情報を発信してほしい。 ・学校と家庭、地域の連携がとれていて、お互いの理解が図れている。 ・授業参観に来る保護者は限定的であり、多くの人に参加してもらえ工夫があるとよい。 ・推進委員会を中心に学校と地域とのつながりは強く、非常に協力的である。学校からの要請を受け、ボランティアで参加する人が増えている。それが保護者に波及するとよい。					

4 次期の重点目標と改善のための方策

【学校関係者による学校経営全般についての意見】
・地域と学校と生徒の連携が素晴らしいと考える。自己肯定感が若干低く出ているのは、子どもたちの謙虚な気持ちや人前に出すぎないように気遣っている心の表れであると思う。将来の夢を語ることは大切であり、近い将来の目標、今日や明日に何をするかななどで少しずつ自分と向き合う時間が増えることにより、自分に自信を持てるようになることを期待したい。
・学校の外からも生徒たちが落ち着いて生活している様子を伺うことができる。これはチーム学校として機能しているからである。これからも大事にしていきたい。

【次期の重点目標】
・生徒が課題をもって主体的に活動する授業展開を行い、基礎・基本の定着を図る。
・情報発信ツールを使い、学校情報を伝える。
・久住の歴史や伝統と文化を尊重し、故里を愛する心を育み、地域とともに歩む学校づくりを推進する。

【改善のための方策】
・研究主題を意識し、授業相互参観や指導主事による授業研修を通して、授業改善に取り組む。
・学級通信、学年便り、学校便り、ホームページ等を使い、学校の様子を随時発信していく。
・伝承芸能について、今年度の反省を生かして内容や実施方法を工夫・改善していく。